

○家の中での準備

- ・停電時に備えて、懐中電灯と予備の電池を点検する。
- ・停電になってでも台風情報や気象情報が聴けるように、携帯ラジオ（予備の電池も）を準備する。
- ・かなづち、のこぎり、ペンチ、釘、針金、板、棒、ロープ等の補強用具を用意する。
- ・非常持ち出し品を準備する。
- ・電気、ガスなど、火元は必ず始末する。
- ・浸水の恐れがある場合は、家財などをできるだけ高いところへ移す。
- ・窓枠などの風が吹き込んだり、雨水が浸入しやすいところには、布切れをつめこむ。
- ・強風などにより窓ガラスが割れることもあるので、カーテンを引いて、破片が部屋に飛び散らないようにする。
- ・断水に備え、浴槽やバケツに水を確保しておく。
- ・特別な食事が必要な乳児や病人などのための準備をする。
- ・ペットには、迷子札や非常食を用意しておく。
- ・外出ししなければならない場合は、目的地、経路、帰宅予定時刻等を家人にはっきりと伝える。



○家のまわりの点検

- ・板塀には支柱を、庭木にはそえ木をして、倒れにくいように補強する。
- ・ごみ箱、看板、立て札など風で飛ばされやすいものは、すべて家の中へ入れる。
- ・物干し竿、植木鉢、ベランダの物などは屋内に入れるか、ロープなどでしっかりと固定する。
- ・下水、とい、側溝などは、たまった土や木の葉を取り除き、水の流れをよくしておく。
- ・屋根瓦、スレートのゆるんだところは補修する。
- ・テレビアンテナは、針金で固定する。
- ・むき出しになっている土壁は、板などでおおう。



○避難情報

災害時の住民への呼びかけには、「高齢者等避難」、「避難指示」、「緊急安全確保」があります。

高齢者等避難

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は警戒レベル3の高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

避難指示

警戒レベル4の避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

緊急安全確保

警戒レベル5の緊急安全確保はすでに安全な避難ができず命が危険な状況です。この発令を待たずに避難しましょう。

※避難情報に関する最新の情報は気象庁のホームページでご確認ください。

出典：「新たな避難情報に関するポスター・チラシ」（内閣府（防災担当）・消防庁）

(https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/poster.pdf) を加工して作成



「ハザードマップ」で危険な地域を事前に確認！

ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したものです。

津波・洪水・高潮による浸水区域・浸水深や土砂災害危険箇所、道路冠水想定箇所、緊急輸送道路、事前通行規制区間など様々な情報を確認することができるため、避難計画や防災対策に役立ちます。

お住まいの地域のハザードマップは、国土交通省ハザードマップポータルサイトもしくは各都道府県・市区町村のホームページにてご確認ください。